

鈍性発情母豚の活用技術の検討

1 はじめに

鈍性発情とは母豚の発情異常の一種で、排卵は正常であるのに発情が不明瞭となる状態を示します。この状態では適切な交配や種付けの時期が分からず、繁殖に利用できなくなります。

そこで、膈内電気抵抗値（V E R 値）を指標として、鈍性発情の母豚に適正な種付けが可能か検討しました。



写真 左：膈内電気抵抗値の測定機器「ブリードテスタ P I T - 1」（チヨダエレクトリック株式会社）
右：測定の様子

2 鈍性発情母豚の活用技術

発情が異常な母豚の V E R 値を計測し、値をもとに鈍性発情の個体を選別しました。選別した母豚 10 頭を用いて人工授精を行ったところ、3 頭で受胎が確認され、平均産子数は 5.3 頭でした。

V E R 値の測定により、鈍性発情の母豚を見つけ出し繁殖豚として利用することが可能でした。

3 今後の取り組み

V E R 値に加えて膈内粘液中の細胞構成比を指標に用いることで、これまで繁殖に利用できなかった母豚の中から、より正確に鈍性発情母豚の選別ができるよう検討しています。

【問い合わせ先】

農業技術研究センター 養豚・養鶏担当

電話：048-536-0440 FAX：048-536-7019

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0909/index.html>